

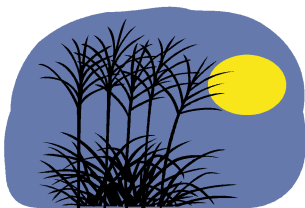
スクールカウンセラーからのおたより

命の危険とまで言われた暑さ、降ればどしゃ降りの大雨。大変な夏でした。それでも、話題いっぱい的高校野球、二日間も恐ろしい山中で1人過ごした2歳の坊やの無事・・・とニュースもいろいろでした。厳しい環境の中、何とかしのいでいく人間の、粘り強い姿に心を動かされました。皆さんも危険を切り抜けて学校へもどってくれましたし。

夏休みにはお盆という古くからの行事があります。お墓参りをした人もいたでしょうか。そこにきざまれたたくさんの名前に、誰でも人は生まれて、生きて、やがて墓に入るということがこんなにも当たり前のことだと気づきます。

生まれることと死ぬことは、人間の力の及ばない自然の力です。生まれてきた私たちは、あわてなくてもいつか死ぬ日が来ます。でも、その間をどう生きていくのかは自分で決めることができます。もちろん、思うようにならないことは多く、時々、なぜ自分は生きているのかと、むなしくなったりさびしくなったりすることもあります。でも2歳の坊やのように、地味な公立高校の野球部員のように、今を生き抜いていく力を確かに私たちも持っています。その積み重ねが不成功でなくても、あんなに人を感動させたり、何よりも自分自身の中で「やりぬいた！」という充実感を味わえたりすることは、これから何度もあります。

今は先が見えなくて苦しかったり、何の役に立つのかと無駄に思えて腹が立ったりしても、小さなことを実行し続けてみるのはどうでしょう。すると次にどうしたらいいかきっとわかります。充実感は、ガンバル時間が過ぎてから感じるようです。そして、それも生きていく長い時間の途中のできごと。まだまだ、やれること、やりたいことは出てきます。楽しみですね。疲れた時は、あわてないあわてない。ひと休みひと休みです。相談室でおしゃべりするのもいいですよ。ゆっくり、いろいろ試していきましょう。



スクールカウンセラー